

2025年

かわむら小児科

公式 LINE



モ〜モ〜くらぶ



子どもとくすり

当院では無駄な薬はできるだけ使わないように心がけています。理由はどんな薬にも副作用はあること、からだにいい薬はないからです。

咳、鼻水を止める、熱を下げるためにステロイドホルモンを出される医師もおられます。確かに咳、鼻水、熱に対する効果はあります。ただそれでかぜが早く治っているのでしょうか？ステロイドホルモンは元々副腎という臓器で作られているものですが、薬は通常体で作られている量の何倍とあります。免疫を抑えるので熱は下がるでしょう、炎症を抑えるので咳、鼻水も早く良くなるでしょう。ただ、私は子どもの体に無理をさせているのではと心配します。実際、ステロイドの吸入2年間で身長が1.2cm伸びが悪くなったというデータがあります。1.2cmは大したことないと思われると思いますが、骨の成長や成長ホルモンに影響を与えていることとなります。吸入薬でさえそういった副作用があるのですから内服薬だとさらに副作用はあるかもしれません(目に見えないもの、今までわかっていないものもあるかもしれません)。なので私は喘息発作、クループ、じんましんなどのひどい時にしか使いません。

抗生剤も細菌にしか効きません。溶連菌、尿路感染症など細菌性のもの、中耳炎、副鼻腔炎のひどいものには使ったりします。抗生剤を使わないと肺炎になるのではと心配される方もおられるかと思えます。ただ、肺炎にもいろいろあり、ウイルス性のものだと特に薬はありません。細菌性、マイコプラズマには抗生剤を使います。昨年マイコプラズマが大流行して当院でも200名以上出ました。肺炎の子もいたかもしれません(当院ではレントゲンを撮らないのでわかりません)。ただ当院から紹介入院した子はおられませんでした。当院の治療がほぼ適切であったものと思えます。

薬は成長中の子どもにはあまりいいものとは思われませんので必要最小限のものだけにしています。ご理解いただけると幸いです。

スギ花粉

子どもの花粉症は年々増加しており 5〜9 歳で 30%、10〜19 歳では 49.5%と大人と発症率は変わりません。

2 月はスギ花粉の飛散時期で、花粉症の症状が出現する可能性があります。

【花粉症の対応】

- 花粉からの回避
- 室内に花粉を持ち込まない
- 症状に応じて、点鼻・点眼薬の使用や、抗アレルギー薬を内服
- スギ・ダニのアレルギーには舌下免疫療法もあります

【花粉症の診断】

当院では静脈採血をして調べる方法と、指に針を刺し少量の血液で調べる簡易検査の2種類を行っています。気になる方は相談にいらしてください。

(ホットケーキ)

………感染症情報(2月1日現在)………

- ★インフルエンザA型、マイコプラズマはかなり減ってきました。新型コロナは少し増えてきている感じです。
- ★溶連菌、ヒトメタニューモウイルス、RSウイルスが少しずつ、ずっと出ています。

………新しいスタッフを紹介します………

事務の原田です。

セールスポイントは丈夫で健康な体です。少しでもみなさんのお手伝いができたらと思います。

事務の西山です。

ココロもカラダも元気いっぱい、仕事・子育て・家事、いつも笑顔で頑張ります。

どうぞよろしく願いいたします。